情報通信審議会 情報通信技術分科会 (第77回) 議事概要

- 1 日時 平成23年2月15日(火) 16時00分~17時02分
- 2 場所 総務省第1特別会議室(8階)
- 3 出席者
 - (1)委員(敬称略)

坂内 正夫(分科会長)、徳田 英幸(分科会長代理)、相澤 彰子、 青木 節子、荒川 薫、伊東 晋、近藤 則子、鈴木 陽一、須藤 修、 高橋 伸子、前田 香織

(以上11名)

(2)専門委員(敬称略) 門脇 直人、森川 博之

(3)総務省

(情報通信国際戦略局)

利根川情報通信国際戦略局長、久保田総括審議官、竹内技術政策課長、小笠原通信規格課長、中島通信規格課企画官

(総合通信基盤局)

桜井総合通信基盤局長、吉田電波部長、前川基盤局総務課長、 田原移動通信課長、越後移動通信課企画官、巻口衛星移動通信課長、 中澤衛星移動通信課企画官

(4)事務局

白川情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長

- 4 議 題
 - (1) 答申事項
 - ア 「航空無線通信の技術的諸問題」のうち「ICAOの無線通信に関する勧告等により、国内の技術基準を整備する上での問題点及び対策」について【昭和60年4月23日付け 電気通信技術審議会諮問第10号】

審議の結果、本件について一部答申を行った。

【内容】

本件は、国際民間航空条約第 10 付属書の第 85 改訂として無線航法援助施設、デジタルデータ通信システム、監視レーダ及び衝突防止システムの方式、要件等が修正されたことに伴い、国内の技術基準を整備する上での問題点及び対策について当分科会の「航空・海上無線通信委員会」より報告された内容を審議したもの。

イ 「Ku 帯へリコプター衛星通信システムの技術的条件」について【平成 20 年 7 月 29 日付け 諮問第 2025 号】

審議の結果、本件について答申を行った。

【内容】

本件は、ヘリコプターから衛星を経由してリアルタイムで災害現場等の 高画質映像等を伝送可能とする技術的条件について検討を行ったもの。

(2)議決事項

ア 「国内の標準化に関する審議体制」について

事務局より提案があった「ITU 部会の所掌」案について承認し、部会に所属する構成員の指名を行った。

【内容】

本件は、昨年7月の総会において大歳会長から、当分科会に対して「ITUを対象とした現在の標準化の検討体制の見直し」の検討を依頼されたもので、昨年12月の当分科会において見直し案を取りまとめ、総会へ報告することを決定したもの。2月10日に開催された総会において、見直し案について当分科会から報告を行い、新たな「ITU部会」の設置が承認されたもの。

イ 「デジタル新産業創出に向けた研究開発加速化のための産学官連携強化方策」の取り下げについて【平成21年7月10日付け 情報通信審議会諮問第15号】

会長からの付託の取り消しを受けて「産学官連携強化委員会」を廃止することとした。

【内容】

本件は、平成 21 年 7 月に諮問を受け、I C T 分野の重点化すべき研究 開発課題や産学官連携による研究開発の推進方策について、情報通信技術 分科会において産学官連携強化委員会を設置し、調査・検討を進めていた ところ、総務大臣より諮問の取り下げがあったもの。

(3)報告事項

「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「920MHz 帯電子タグシステム等に関する技術的条件」について【平成 14 年 9 月 30 日付け 諮問第 2009 号】 <審議開始>

委員会事務局より報告があった。

【内容】

本件は、950MHz から 958MHz の周波数が用いられている電子タグシステム等について、平成 22 年 11 月 30 日に公表された「ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数検討ワーキンググループ」の取りまとめにおいて、スマートメーター等の導入に向け 5 MHz 幅を拡充するとともに、国際競争力強化の観点から 915MHz から 928MHz に移行するとされたことから、当該帯域において電子タグシステム等の導入が可能となるよう、技術的条件の検討を開始するもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて 公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、 下記までご連絡をお願いいたします。

担当:総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 猪飼、吉原

電話 03-5253-5957 FAX 03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

<u>迷惑メール防止対策をしているため、</u>/●/<u>を@に置き換えてください。</u>